

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	山田修平	学校名	大阪市立高津小学校
実施学年	4年生	教科	算数
単元名	直方体と立方体の垂直・平行		

《学びを深めたいポイント》

- ・ 「垂直」「平行」の定義を、実社会の具体物と結びつけて理解する。
- ・ 身の回りの直線から、交わり方（直角）や離れ方（等間隔）の特徴を見出す。
- ・ ICT を活用し、自分が見つけた視点を他者と共有することで、多角的な見方を養う。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・ **カメラ機能との連携**：教室内の具体物を撮影し、直接「発表ノート」に取り込む。
- ・ **ペンツールの活用**：写真の上に直接線を引くことで、どこが垂直・平行なのかを視覚化する。
- ・ **一覧表示機能**：クラス全員の見つけたものを比較し、共通点や相違点を確認する。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	前時の復習（垂直・平行の意味）。 本時のめあて「教室の中から垂直・平行を見つけよう」を確認する。	発表ノート（配付）	垂直・平行の定義をまとめたヒントカードを配付しておく。

<p>展 開</p>	<p>・教室内の垂直・平行な場所(窓枠、机の脚、掲示物など)を探して撮影する。</p> <p>2. 撮影した写真にペンツールで色分けして線を引く。</p> <p>カメラ機能 + 発表ノート 垂直は「赤」、平行は「青」など色を指定し、根拠を明確にする。</p> <p>3. グループや全体で、自分が見つけたものを紹介し合う。 一覧表示 + 発表(投影) 他人の写真を見ることで、「そんなところにもあったのか!」という気づきを促す。</p>	<p>カメラ機能 + 発表ノート</p>  	<p>垂直は「赤」、平行は「青」など色を指定し、根拠を明確にする。</p>
<p>ま と め</p>	<p>学習の振り返り。身の回りには垂直や平行が溢れていること、それらが生活を支えている(安定、整頓など)ことに触れる。</p>	<p>提出 + ポートフォリオ</p> 	<p>自分のシートを提出し、学びの履歴として保存する。</p>

《実践を振り返って》

- ・ **視覚的な理解の促進:** 言葉だけの説明よりも、写真に直接線を引くことで、角の重なりや線の間隔を直感的に捉えることができました。
- ・ **意欲の向上:** 端末を持って教室内を探索する活動が、子供たちの「見つけたい」という意欲を刺激し、主体的な学びにつながりました。
- ・ **共有のスピード感:** 発表ノートの一覧表示を使うことで、机間指導中に良い例をすぐに見つけ、クラス全体に即座に共有できたのが効果的でした。